

第43回 支店長のわがまち紹介



茨城県小美玉市

「ダイヤモンドシティ・小美玉」 宝を見つけ、磨き、光をあてるまちづくり

ダイヤモンド筑波 (写真提供 小美玉市)

筑波銀行は、茨城県を地盤とする地域金融機関として、地域の皆さまとの密接な繋がりを持たせていただいております。「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長が県内44市町村をそれぞれご紹介させていただくコーナーです。

第43回は小美玉市です。石岡支店長の古河利弘が、小美玉市長島田穰一氏、市長公室長兼秘書広聴課長 島田清一郎氏にお話を伺いました。

●小美玉市が一番と考えていること、自慢できることはどのようなことでしょうか。

【小さな美しい宝(玉)がたくさん輝くまち】

小美玉市は茨城県のほぼ中央に位置し、市の西部にJR常磐線、国道6号、常磐自動車道、南部に国道355号、東部に茨城空港が立地しています。

平成22年に茨城空港が開港し、本市と国内外の来訪者との新たな交流が生まれていることから、本市は幅広い分野において地域振興に取り組んでいます。

「小美玉市」という名前は、平成18年3月に旧小川町、旧美野里町、旧玉里村が合併した際、3町村の頭文字を取って命名しました。

この名前には「小川の流れや美しい自然とともに、玉のように輝き飛躍する市、小さな美しい宝物、あるいは小さな美しい心を持つふるさとになるように、小さな玉が美しく磨かれていく、そんな夢を持てる市になるように」という想いが込められています。

【「ダイヤモンドシティ・プロジェクト」開始】

本市は国の「まち・ひと・しごと創生法」を受け、平成28年3月に地方版総合戦略「ダイヤモンドシティ・プロジェクト」を策定しました。

1. 恋も子育てもしたくなるまちになる
2. 地域の宝を見つけ、磨き、光をあてるまちになる
3. わく work(ワーク)がとまらないまちになる
4. スーツと、ず〜っと住めるまちになる

この計画を基本に、今後5年間で「人口減少対策」と「定住促進」に絞った事業展開を図り、魅力に溢れ、光り輝く「ダイヤモンドシティ」の確立を目指して参ります。

【風光明媚な「ダイヤモンド筑波」】

本市が最も自慢できる風景は、1年に2回、5月と7月の中旬頃に霞ヶ浦湖畔から見える「ダイヤモンド筑波」です。筑波山の男体山と女体山のちょうど真ん中に夕陽がかかり、霞ヶ浦の水面に光の道が輝く姿は絶景です。

本市は市民や来訪者の方にこの風光明媚な景色を楽しんでいただきたいと考え、フォトコンテストなど様々なイベントを開催しています。

「筑波山に落ちる夕陽」を「ダイヤモンド筑波」と読み替え、当たり前にある資源を地域の活力として注目することで、市民の「シビックプライド」が醸成され、まちへの愛着も高まり、ずっと住み続けたいと思えるまちに成長していくと考えています。

【小美玉市の魅力を世界に発信】

茨城空港の利用・見学者数は、開港からまもなく7年を迎える現在も増加しています。また、常磐自動車道石岡小美玉スマートICが開通したことで交通利便性が向上、さらに平成26年には空のえき「そ・ら・ら」もオープンし、まちにさらなる活力が生まれています。



空のえき「そ・ら・ら」の様子 (写真提供 小美玉市)



島田市長



島田市長公室長兼
秘書広聴課長



石岡支店
古河支店長

本市の魅力国内外に発信していくことは、茨城空港を売り出すことでもあります。そこで本市は外国人旅行者をまちへ呼び込むため、市の魅力を紹介するPRビデオを作成しました。今後は中国をはじめアジア圏に向けて広く発信し、航路の拡大にも繋げていきたいと考えています。

【乳製品で乾杯！】



「乳製品で乾杯！」
(写真提供 小美玉市)

本市は全国でも有数の酪農地帯であり、生乳の生産量は県内1位を誇ります。

そこで本市は、乳製品の普及促進と健康増進、そして地域振興を図るため、平成26年12月に「乳製品で乾杯」を推進する条例を制定しました。市の記念式典や市職員の結婚式では本市の乳製品で乾杯しています。

空のえき「そ・ら・ら」の直売所および美野里売店では「ヨーグルトで乾杯します」と伝えると、定価から割引される嬉しい特典がありますので、ぜひ皆さんにも乾杯していただきたいです。



「そ・ら・らヨーグルト」 (写真提供 小美玉市)

【小美玉市まるごと文化ホール】

本市は平成24年に策定した「小美玉市まるごと文化ホール計画」を基に、住民主体による多彩な参加・参画プロジェクトを実施しており、全国的に注目を集めています。

市民が自ら事業に関わることで、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という意識が芽生え、さらに、まちに芸術と文化の香りが漂うことで、市民の心はより豊かになっていくと確信しています。

【「ミライカレッジ小美玉」の開講】

本市は平成28年12月から「結婚促進」、「魅力創出」、「移住定住促進」を複合的に行う「ミライカレッジ小美玉」を開講しました。

12月は首都圏に住む20代の独身女性を対象に、本市の食材を用いたクリスマスケーキを作るイベントを開催し、小美玉市に興味を持っていただくきっかけづくりを行いました。

今後は、婚活の心構え講座などを経て、2月に首都圏の独身女性と本市内の独身男性を対象とした1泊2日の移住交流促進ツアーを開催し、若い人の「学びと出会い」の創出に貢献していきたいと考えています。

●今後の展望についてお聞かせください。

【均衡ある「陸・空・水」のまちづくり】

今後、本市は「陸」、「空」、「水」のエリアに分け、それぞれの特性を活かしたまちづくりを行うことで市全体の活性化を図っていきます。

「陸の交流エリア」では、JR常磐線羽鳥駅を橋上化し、駅前には交流施設を整備する予定です。施設内には行政機能や商業機能、交流スペースなどを設けることで、「陸」エリアの一翼を担う場所にしたと考えています。



羽鳥駅橋上化のイメージ* (写真提供 小美玉市)

「空の交流エリア」では、茨城空港に降り立った外国人旅行者などが、空のえき「そ・ら・ら」にある加工施設で生乳から製造される作りたての乳製品を楽しんでいただけるよう、観光客の取り込みに一層力を入れていきたいと考えています。

「水の交流エリア」では、霞ヶ浦の湖畔7kmの有効利用について、市民と一緒に考えながら地域を盛り上げていく活動を展開して参ります。

●筑波銀行に期待することをお聞かせください。

「ダイヤモンドシティ・プロジェクト」の実現に向けた支援をお願いしたいと考えております。例えば、銀行が持つ経験や知識、幅広いネットワークを活かした新規就農や創業支援策としてのセミナー開催や企業への融資優遇、事業経営アドバイザーの派遣など幅広い支援を期待しております。

* イメージ図の色・デザイン等については、実際の建物と異なる場合があります。